

◆はじめに

オンラインでのミニ講座やセミナーに Zoom（ズーム）というアプリを使います。ここでは Zoom を使い始める準備をご説明します。

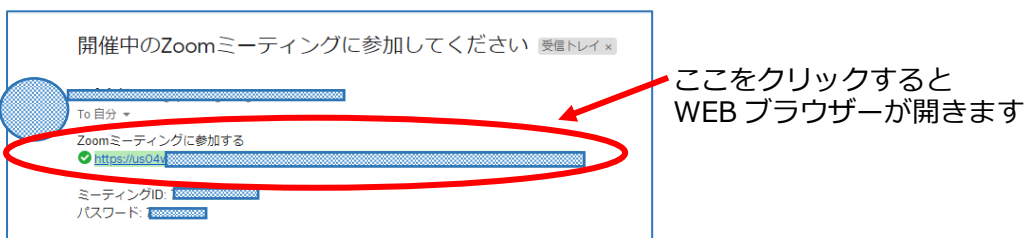
※注意 Wi-Fi の環境下がおすすめです。スマートフォンはバッテリー残量を確認してください。

◆パソコンから参加する場合※動画視聴のみの場合は、カメラもマイクも不要です。

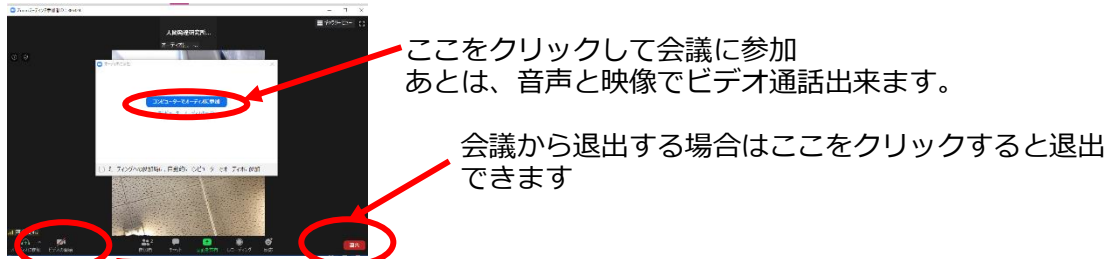
【準備】

お手持ちのパソコンに WEB カメラとマイクが接続されていることを確認してください。
(ノートパソコンならどちらもついていることが多いです。デスクトップパソコンの場合は WEB カメラとマイクを購入し用意する必要があります。カメラがなくても声だけで参加可能です。)

① 申込み者に送られる招待メールをみる



- Zoom のページが開いてアドオン (Zoom に必要なプログラム) をダウンロードします。自動的にダウンロードできないときは WEB ページのガイダンスに従ってダウンロードしてください。
- パスワードを入力します。
- 名前 (分かり易いように本名で) を設定して、会議室入室申請をしてください。ホスト (会議の主催者) が参加を許可したら以下のような画面が出ます。



音が聞こえない場合、①ここがオフになっていないか
②パソコンの音量設定が0になっていないか、を確認。

Zoom の利用には ゲスト参加・サインイン・サインアップの3つがあります。
上記方法はゲスト参加です (ミーティング主催者にはなれません)
3つの違いなどは下記「◆スマートフォンから参加する場合」を参照してください。

◆スマートフォンから参加する場合

それぞれのアプリストア（Appstore か GooglePlay）で『Zoom Cloud Meetings』をダウンロードする（無料）

ZOOM ミーティングに参加するには **3つの方法**があります
ミーティングを主催する場合は方法②・③をご使用ください。

方法① アカウントを作成しない

自分でミーティングを主催しない、
参加するゲスト側だけならこの方法で OK
アプリをインストールするだけでおしまいです。

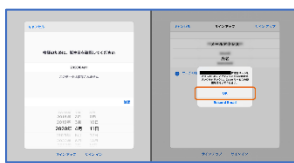
方法② サインイン

Google や Facebook のアカウントを持っている人は
サインインから利用できます。
Google や Facebook で認証を済ませてください。

方法③ サインアップ

②のアカウントを持っていない人や共有したくない人は、アカウントを登録します。

① アプリを立ち上げるとサインアップと下部にボタンがあるのでクリック
（上記図の③）



誕生日や氏名メールアドレスを入力して「OK」をクリック

② 入力したメールアドレスに Zoom の有効化（アクティベート）
確認メールが届くので
「アクティベートする」のボタンをクリック
英語で来たメールも「Acitivate Account」をクリック



③



- ① パスワードを設定し、『続ける』を押す
- ② 仲間を増やすはスキップ
- ③ テストミーティングしないで
マイアカウントを押す
- ④ ブラウザを閉じる

⑤ 再度 Zoom のアプリを立ち上げて「サインイン」を押す。
先ほど入力したログイン情報を入力しログイン

これでサインアップ完了です



次ページ

◆田村運営委員長のメッセージ動画を視聴するへつづく

◆田村運営委員長のメッセージ動画を視聴する

人間発達研究所のホームページに動画へのリンクがあります。
クリックすると Zoom のページが開き、視聴できます。
動作確認を兼ねて、一度視聴してみてください。

※URL から開けない

(「サポートされていないブラウザ」という表示が出た) ときは…



ここをタップして「Safari」などを選択して表示すると「このページを「Zoom」で開きますか?」と聞かれるので「開く」をタップしてください

◆ミーティングに参加する

① Zoom アプリを立ち上げて…

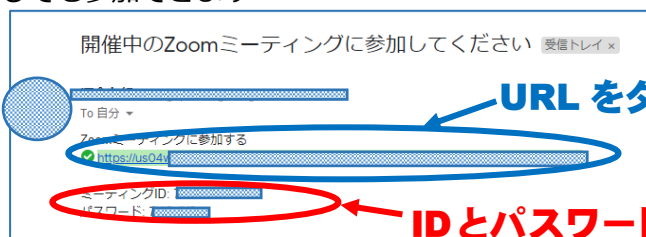


『参加』をタップすると右のような画面が出る

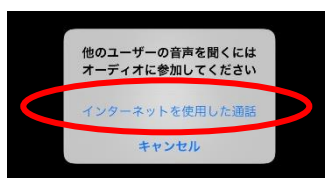


ミーティング ID を入力

※ミーティング ID とパスワードは招待メールに書いてあります
URL をタップしても参加できます

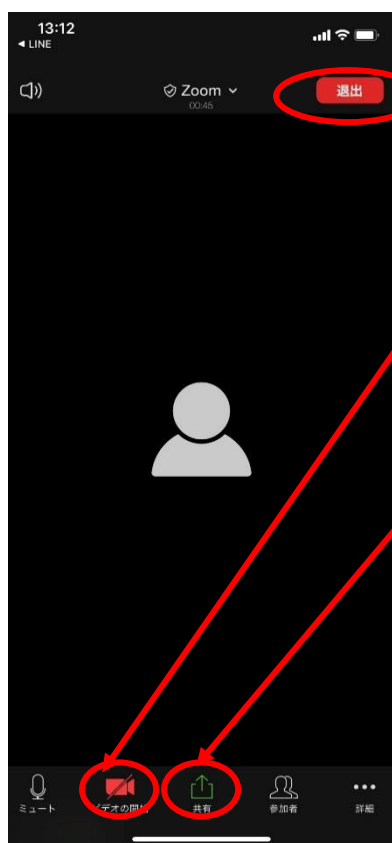


② 参加申請して、ホスト（ミーティングの主催者）が入室を許可したら



『インターネットを使用した通話』を選択して参加

③ ミーティング中の画面



← ミーティングから退出する場合はここ

自分の声を拾って欲しくない場合はここを OFF にする

顔を出したくない場合はここを OFF にする
(この画像では OFF になっている)

copyright©人間発達研究所